

青年部長等研修会（主張発表大会）概況

定刻となり、司会者、県青連駒形副会長は開会を宣し、13時30分から青年部主張発表大会が開催された。

株式会社新潟日報社報道部 笹川部長代理が審査委員長となり、新潟県産業労働観光部産業政策課 神山参事、県連合会 石田副会長、県女連末武会長、県連合会 渡部専務理事、県青連 若田部会長、県連合会 土田事務局次長の7人により審査が行われた。

<発表順とテーマは別紙のとおり>

各発表者とも、聴衆に訴えかける見事な発表であった。内容も、青年部員にとって今後の活動のヒントとなる興味深いものばかりであった。

発表内容については、別添主張発表者原稿のとおり

全発表の終了後、審査委員による審査の間、16時00分から、ランチェスターマネジメント株式会社 代表取締役 河辺よしろう氏による研修会を行った。内容は以下のとおり。

【研修会：テーマ】

「ランチェスター経営戦略から学ぶ 時代を先取りした新しいビジネスチャンスの極意」

講師 ランチェスターマネジメント株式会社
代表取締役 河辺 よしろう 氏

はじめに、日本の企業の現状を説明。75%が赤字であり、年間に1万件以上が倒産している。倒産の原因として「販売不振」の割合が増えていることを踏まえて、デフレに負けない強い企業にしていくことが重要と述べた。

企業体質を強化するためには「企業の利益性の原則」を再認識することが重要である。経常利益は粗利の7%、また「従業員一人あたり純利益」はおよそ30万円が目安と説明。また、営業経費は「顧客を新しく獲得するためのコスト」と「顧客を維持するためのコスト」で分けて考えることが大切であり、どちらのコストについても、顧客一人あたりの経費を算出することが重要であると述べた。

次に「従業員一人あたりの純利益」および「従業員一人あたりの自己資本」の指標を用いて企業の実態を表すマトリクスについて説明。

経営計画書を作る上で、このマトリクス上で企業がどこに位置するかを踏まえ、経営計画を策定することが重要と述べた。

つづいて企業の経営計画策定について説明。

策定すべき要素は商品戦略・地域戦略・業界/客層戦略・営業/IT戦略・顧客維持対策・組織戦略・財務戦略・時間戦略の8つのみであると述べた。

その上で注目されているキーワードの一つに「商品開発力」があり、商品を企業を中心要素として顧客を増やすことも体質強化のための方策であると述べた。

商品開発の際に重要な要素は「自社の強み」と「自社らしさ」であり、ブランド化のために重要であると述べた。そしてブランドを育て、業界一位の企業になることでさらに顧客を増やすことにつながると述べた。

最後に、現在中小小規模事業者にとって厳しい時代ではあるが、みなさんには会社の規模に関わらず、「経営のプロ」になってほしいと部員を激励され、講演を終えた。

テーマとしては、中小企業向けではあったものの、小規模事業者にとって参考になる部分も多く、企業体質の強化を考える事業者にとって、今後の指針となる講演であった。

研修会終了後の17時40分より、表彰式が行われた。

はじめに成績発表が行われ、最優秀賞は県産業政策課神山参事、優秀賞は県連石田副会長、優良賞は県青連若田部会長からそれぞれ表彰状の授与

が行われた。

その後、審査委員長の新潟日報社報道部 笹川部長代理から、講評をいただいた。

表彰結果並びに講評内容は以下のとおり。

最優秀賞（県知事表彰）	柿崎商工会青年部	佐藤 一
優秀賞（県連会長表彰）	刈羽村商工会青年部	浦東 寛
優良賞（県青連会長表彰）	三和商工会青年部	西山 秀雄

・柿崎商工会青年部 佐藤 一

「最初の10行が良くできていた。新聞の文章も最初の10行でいかに読者を引き込めるかが重要なので、その点で非常に優れていた。今後、文章構成も表現力もさらに磨き、是非とも関東ブロック大会を優勝し全国大会に出場して欲しい。」と講評、激励した。

・刈羽村商工会青年部 浦東 寛

「会長とのやり取りなど、会話の様子が鮮明に浮かび上がるようだった。」と講評した。

・三和商工会青年部 西山 秀雄

「地元住民とのふれあいの部分のセリフなどが上手かった。」と講評した。

18時00分から、県青連木村副会長の進行のもと懇親会が開催され、参加者の交流を目的に、くじ引きによる席決めを行った。

最後に県青連小山副会長の締めの挨拶により全日程が終了した。

(1 9 : 3 0)